

# 人文情報学科 正課授業における取り組み

## 専門の技法

### ○ 教科書の配布・参照

電子書籍化した教科書（PDF）の配布と参照に利用した。

### ○ 担当教員からのコメント

教科書を電子書籍化することでiPadへの親和性が高められ、教科書の有効利用が可能となった。

（生田・山城・高橋）

## 人文情報学演習Ⅰ

### ○ 資料配布、課題提出

資料の配布と、BeeDanceによる課題提出に利用した。

### ○ 担当教員からのコメント

iPadで資料配布することでiPadに対する親和性が高まった。ただ、レポート作成の基礎が中心であるため、今後どのように活用していくかが課題である。

（酒井・高橋・箕浦）

## 人文情報学演習Ⅱ

### ○ プレゼンテーション

プレゼンテーションを行うツールとして利用した。

### ○ 担当教員からのコメント

より広い視野でのプレゼンテーションが可能となった。

（三宅・高橋・柴田・采暉）

### ○ プレゼンの相互評価

iPad版Twitterクライアントで、プレゼンテーションの評価を行った。

#### ● 関連情報

この取り組みの内容については『平成23年度教育改革ICT戦略大会』にて発表しました。

詳細は「[iPad×Education](#)」ページの『平成23年度教育改革ICT戦略大会 発表報告』（PDFファイル）を参照ください。



## 人文情報学演習III-1ab

### ○ 資料配付

発表者が作成した配付資料（PDF）の配信に利用した。

### ○ ディスカッション

iPad版Twitterクライアントでディスカッションを行った。

### ○ 担当教員からのコメント

授業中のディスカッションが盛んになった。また授業外でも、受講生同士の議論が盛んになってきた。

（采筆）

## 人文情報学演習III・IV-2ab

### ○ 参考資料の配信

PDF化した参考資料の配信に利用した。

### ○ 発表時の質疑応答

ゼミの課題発表の際、学生・教員間での質疑応答（及びコメントの送信）にiPad版Twitterクライアントを利用した。

### ○ EPUB実習

EPUBの実習を行う際に利用した。

### ○ コンテンツ作成

サブゼミにて、資格試験対策ドリル作成に活用した。

### ○ 担当教員からのコメント

学生が活発に質問とコメントを発出するようになった。

一学生がEPUBフォーマットで200ページの電子書籍を作成した。

（池田）

## 人文情報学演習III-4ab

### ○ 課題発表

iPadの色々な利用法について、毎回担当を決めて学生が発表した。

### ○ 担当教員からのコメント

学生が互いに教えあうことで、学生同士のコミュニケーションが活発化した。

（山本）



## 人文情報学演習IV-4ab

### ○ データベースの公開

データベースの公開を行う際にiPadを利用した。(すでにデータベースの公開を行った学生がでている)

### ○ 担当教員からのコメント

学生が互いに教えあうことで、学生同士のコミュニケーションが活発化した。  
(山本)

## 人文情報学演習III・IV-5ab

### ○ サブゼミ指導

出張先(海外)からインターネットテレビ電話: Skypeを利用したサブゼミ指導を実施した。

### ○ 担当教員からのコメント

インターネットの接続が安定しているためコミュニケーションに問題はないが、集中力を保つのが難しいことが分かった。  
(松川)

## 人文情報学演習IV-7ab

### ○ 卒業制作

授業テキストの電子書籍化  
担当教員の授業テキストを電子書籍化した。  
※ 制作物は今年度の試用を経て来年度から実用化

iOS用アプリ作成のための教科書作り  
担当教員のプログラミング授業を前提に、そのiOS用アプリを作成する教科書を作成した。

出席登録アプリの作成  
iPadを利用した授業の出席登録アプリを作成した。  
※ 来年度から実用化の予定

### ○ 担当教員からのコメント

iPadの活用を前提に卒業制作をすることでテーマの幅が広がった。実際に、私の他の授業においても利用できるものが作成できているため、非常に役に立っている。  
(福田)

## 人文情報学演習IV-9

### ○ 資料の参照

卒業論文に関連する資料をiPadに保存し、適宜参照するように指導した。

### ○ 担当教員からのコメント

インターネット上の情報だけではなく、より洗練された資料を目にする機会が増えた。  
(高橋)



## 人文情報学特殊講義1「仏教学とコンピュータ」

### ○ 授業の補助

チベット文字をコンピュータで処理できるようになってきた歴史を辿り、その中でiPadでチベット文字を入力する体験をさせた。また、学生が卒業制作で作成した出席確認アプリで出欠をとった。

#### ● 関連情報

チベット文字入力システムの開発、およびMac OS X 10.5~/iOSへの同システム搭載には、福田教授と大谷大学が大きく関わっています。詳細は、[『outlk.net: 大谷大学真宗総合研究所チベット語支援ツール』のページ](#)を参照ください。

### ○ 担当教員からのコメント

これまでチベット文字を自分で打つ機会がなかった学生が、iPadの登場により未知の複雑な書法の文字を打つ経験ができた。

出席確認アプリはWebアプリケーションとして作成し、実際に使いながらプログラムを修正している。現在トラブルは起こっていない。

学生は授業メモをiPadで取っていた。  
(福田)

## DTP演習1

### ○ 電子書籍の作成指導

学生が卒業制作として、授業テキストの電子書籍を作成した。

### ○ 制作課題

電子書籍作成マニュアルの作成を課した。XHTMLとCSSを用い、学生自ら手入力で作上げることを条件とした。

### ○ 担当教員からのコメント

学生が独自に調べた「電子書籍の作り方」をまとめたテキストを使用し、授業を行なっている。まだまだEPUBを作成・閲覧する環境が貧弱であると感じた。  
(福田)

## 人文情報学概論1

### ○ 講義ノートの配信

PDF化した講義ノートの配信に利用した。

### ○ 出席登録、小テスト、コメント提出

BeeDanceによる出席登録、授業中の小テスト・コメント提出を実施した。

### ○ 担当教員からのコメント

授業への集中力が高まった。受講者数が多いため、出欠管理の合理化が図れた。

(池田)



## マルチメディア論

### ○ 講義ノートの配信

PDF化した講義ノートの配信に利用した。

### ○ 出席登録、小テスト、コメント提出

BeeDanceによる出席登録、授業中の小テスト・コメント提出を実施した。

### ○ 担当教員からのコメント

授業への集中力が高まった。  
出欠管理の合理化が図れた。

(池田)

## ネットワーク論

### ○ 講義ノートの配信

PDF化した講義ノートの配信に利用した。

### ○ 出席登録、小テスト、コメント提出

BeeDanceによる出席登録、授業中の小テスト・コメント提出を実施した。

### ○ 担当教員からのコメント

授業への集中力が高まった。  
受講者数が多いため、出欠管理の合理化が図れた。

(池田)

## 情報産業論

### ○ 講義ノートの配信

PDF化した講義ノートの配信に利用した。

### ○ 出席登録、小テスト、コメント提出

BeeDanceによる出席登録、授業中の小テスト・コメント提出を実施した。

### ○ 担当教員からのコメント

授業への集中力が高まった。  
受講者数が多いため、出欠管理の合理化が図れた。

(池田)



## コンテンツ評価演習

### ○ 講義ノートの配信

PDF化した講義ノートの配信に利用した。

### ○ 出席登録、小テスト、コメント提出

BeeDanceによる出席登録、授業中の小テスト・コメント提出を実施した。

### ○ 担当教員からのコメント

授業への集中力が高まった。  
出欠管理の合理化が図れた。

(池田)

## 人文情報学特殊講義3「プロジェクトマネジメント」

### ○ 講義ノートの配信

PDF化した講義ノートの配信に利用した。

### ○ 出席登録、小テスト、コメント提出

BeeDanceによる出席登録、授業中の小テスト・コメント提出を実施した。

### ○ 担当教員からのコメント

授業への集中力が高まった。  
出欠管理の合理化が図れた。

(池田)

## プログラミング演習1・Unix演習1

### ○ テキストの配布・参照

従来の紙ベースのテキストを電子書籍化して配布し、iPadで参照させた。

### ○ 担当教員からのコメント

紙ベースのテキストは忘れてたり無くしたりしがちだったが、電子書籍化したテキストの配布にしてからは毎回必ず持ってきて、常に机の上に置いて参照するようになった。

(福田)



## プログラミング演習2・Unix演習2

### ○ テキストの電子書籍化、改訂

電子書籍化したテキストを学生の卒業制作として作成させた。完成後も、情報アシスタントとして関わりながら内容を修正させている。

### ○ 担当教員からのコメント

授業の中で追加項目があるなどしてテキストを修正したい場合でも、すぐに反映して再ダウンロードさせることで、テキストの改訂が瞬時に行えるようになった。

(福田)

## 文化財の映像化

### ○ iPad用パノラマムービーの作成

iPad用にHTML5でパノラマムービーを作成し、寺社仏閣や博物館内部などのウォークスルーを擬似体験した。

### ○ 担当教員からのコメント

iPadの新しい利用価値を認識させることができた。

(松川)

## 人文情報特殊演習7・8

### ○ アプリケーション開発

大谷大学 博物館・音声ガイドのiPadアプリを開発した。

### ○ 担当教員からのコメント

「大谷大学博物館・音声ガイド アプリ」を中学生に使ってもらい、評価を受けた。アプリ開発にはオブジェクト指向Cの理解がカギである。

(松川・平澤)

## 人文情報学研究法1

### ○ 授業指導

チャット機能（グーグル・トーク）を利用した授業指導にiPadを活用した。

### ○ 担当教員からのコメント

授業への主体的参加度が高まった。

(松川)

